



モエワ★カムイ

NO. **54**
MAR 1999

●モエワ・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。



あさひやまどうぶつニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ

「ぼくは動物大使」

その15 ウサギ 2.3

特集

児童動物画コンクール 4.5

飼育研究レポート 6

動物園事情・
動物病院ニュース 7

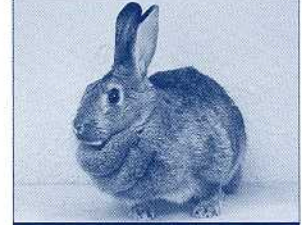
できごと
飼育動物数
編集後記 8

エゾナキウサギ
Ochotoma hyperborea yesoensis

ぼくは、
動物大使
 その15 **かわいいペット ウサギ**

カイウサギ
Oryctolagus cuniculus
 (Domestic)
 絵本にでてくる白くて目の赤いウサギやピーターラビット、ペットショップでみるウサギ、みんな「アナウサギ」という野生のウサギを人が家畜化したものです。
 カイウサギとは家畜化されたアナウサギの総称です。

「こども牧場」のウサギたち
 (カイウサギの品種)



フレミッシュジャイアント種
 体重8kgにもなる大きなウサギ
 食肉用でペットにする人は珍しい

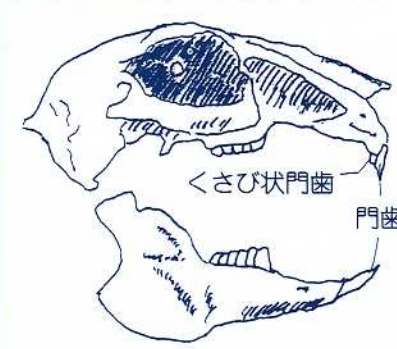


ミニウサギ
 体重2kgくらいの小さなウサギ
 小さなウサギの総称



ネザーランド種
 ピーターラビットのモデルといわれる品種、小さいけど動きは活発

ウサギ目最大の特徴：
 くさび状門歯がある！
 上顎の門歯の裏側にある細長い門歯、ネズミの仲間（げっ歯目）にはない。



ロップイヤー種
 耳垂れウサギ
 顔が丸くておっとりした性格



ライオン種
 ライオンのたてがみのように毛が生えている



ライオンロップイヤー種
 耳垂れライオン



アンゴラロップイヤー種
 全身の毛がモコモコな耳垂れウサギ

目
 真っ赤な目？ 赤い目のウサギは黒目にメラニン色素がない「アルビノ」です。血の色が透けて見えているのです。

鼻
 においに敏感。自分のこどもを区別したり、においてコミュニケーションをしている。

歯
 前歯（門歯）も奥歯（臼歯）も伸び続ける。前歯は1週間で2ミリ以上伸びるよ。

前足
 けっこう鋭い爪が5本ある。この爪を使って地面に穴を掘る。

足の裏
 毛がびっしり生えている。足の裏を保護し、どんな場所でも滑らない。



耳
 大きくてよく動く。小さな音でもよく聞こえる。体温を一定に保つ放熱器官。走っているときは、耳は立っているよ！

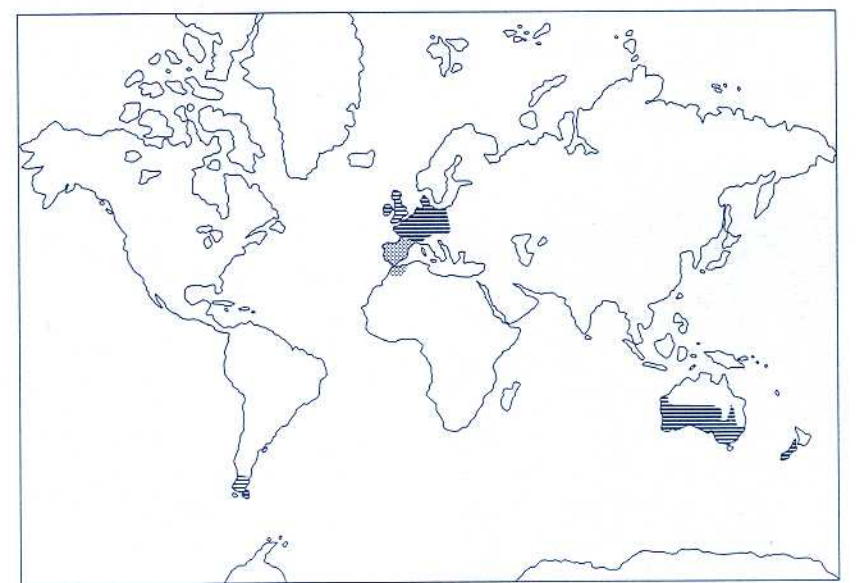
体
 真っ白が好きですか？ 白いのは色素がない「アルビノ」です。

尾
 小さくてかわいい。警戒するとピンと立てる。

ふん
 コロンとまあい玉ふんとやわらかくて細長いクリームふんがある。盲腸ふんと呼ばれるクリームふんはビタミン類を多く含んでいて、食べないと死んでしまう(食ふん)。

後足
 大きくて力がある。

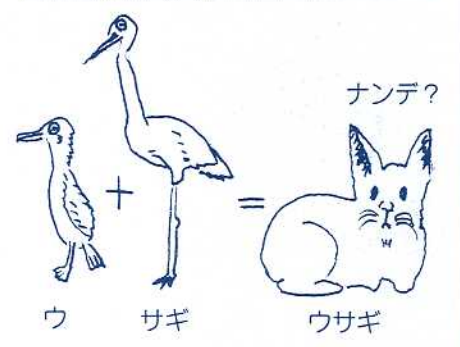
アナウサギの分布



■ 本来の生息地 ■ 人がもちこんだ生息地

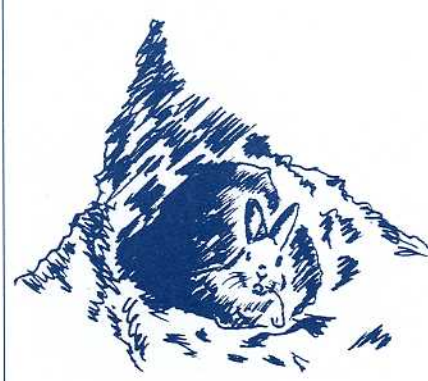
ウサギは鳥？

4本足の動物を食べることを禁じた江戸時代、ウサギは鳥のウとサギだといって1羽2羽と数え捕獲し食べていました。ちなみにこの頃食べていたのは野生のノウサギです。



アナウサギ

世界のウサギの仲間はナキウサギ科とウサギ科の仲間に分けられます。ウサギ科の仲間は44種いて、地面に穴を掘って巣を作るアナウサギ類(rabbit)と穴を掘らないノウサギ類(hare)に分けられます。エゾキウサギはノウサギ類です。
 アナウサギ類の仲間に「アナウサギ」という種がいて、今では50を超えるカイウサギの品種はすべてこの「アナウサギ」1種から作り出されたものです。
 野生のアナウサギの本来の生息地はヨーロッパイベリア半島とアフリカ北西部です。ローマ時代に食肉用として飼育が始まり中世には食肉用、毛皮用、狩猟用とヨーロッパ全土に広まりました。また19世紀には船が難破したときのための食料源として大洋の島々に放されたり、植民地での娯楽の狩猟用に放されました。オーストラリアでは天敵がいなかったため異常繁殖し、バンディクートなど本来の野生動物が重大な被害を受け、又、農作物も大被害を受けたのは有名な話です。



第30回 児童動物画コンクール 優秀作品

幼児の部

旭山動物園賞



国立療養所道北病院どんぐり保育園
佐藤 凱一

旭川市長賞



きくし幼稚園
青柳 佑哉

旭川市教育委員会教育長賞



まこと幼稚園
本田 竜也

北海道新聞旭川支社長賞



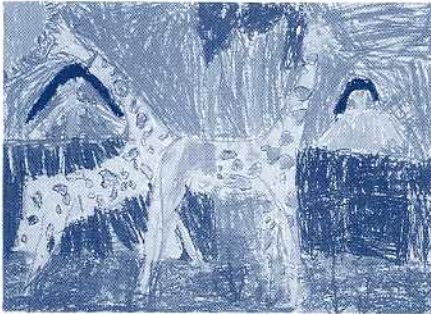
たかす円山幼稚園
尾内 翔太

マルカツ賞



たんぼぼ保育園
内田 ゆめの

旭山動物園くらぶ賞



きくし幼稚園
佐藤 ゆうか

審査員特別賞



旭川市立日の出倉沼へき地保育所
石崎 大介

低学年の部

旭川市長賞



北海道教育大学付属旭川小学校
西尾 佳恵

旭川市教育委員会教育長賞



旭川市立朝日小学校
梁瀬 夏美

北海道新聞旭川支社長賞



旭川市立東五条小学校
吉本 彩奈

低学年の部

旭山動物園賞



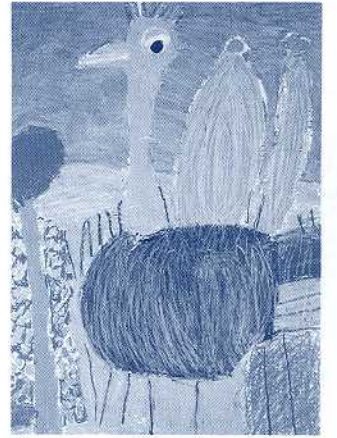
旭川市立朝日小学校
市ノ渡 有菜

マルカツ賞



旭川市立朝日小学校
中村 翔

旭山動物園くらぶ賞



旭川市立朝日小学校
竹村 朋茄

高学年の部

旭山動物園くらぶ賞



旭川市立永山東小学校
楠 克太郎

旭山動物園賞



旭川市立永山東小学校
菅原 真耶

旭川市長賞



旭川市立雨紛小学校
高山 昌弥

審査員特別賞



旭川市立永山東小学校
東條 美歩

マルカツ賞



旭川市立旭川第七小学校
八田 智哉

旭川市教育委員会教育長賞



旭川市立旭川第七小学校
山本 貴勝

北海道新聞旭川支社長賞



旭川市立旭川第七小学校
荒川 優太



飼育研究レポート

旭山動物園で、開園当初から飼育していたエゾヒグマのメス「アサコ」(30才)が、去年の12月15日に死亡しました。死因は老衰でした。今回は、もうじゅう館に移ってからの約3ヶ月間のアサコを追ってみます。

9月22日、動物移動日。動物たちの引越は、まず麻酔をかけて眠らせ、トラックの荷台に乗せて運ぶのですが、実はアサコには今まで一度も麻酔をかけたことがなく、ましてやクマとしてはとても高齢なアサコに「麻酔は大丈夫かな?」と心配しましたが、移動は無事におわりました。

翌日、早速アサコを放飼場に出そうと扉を開けたのですが、外をのぞくだけで出ようとはしません。寝室と放飼場の間には5段ほどの階段があり、放飼場に出るにはその階段を上らなければ出られません。「やっぱり高齢のアサコにこの階段は無理なのかな?」と思いながら、その日は出すのをあきらめました。

そして、次の日、扉を開けると今度は勢いよく飛び出しました。もちろん階段も軽くかけ上がれます。「なあんだ、やればできるんだ」とホッとして私は外に回り、しばらくアサコを見ていました。アサコは初めてみる景色に少し興奮気味に、また少し警戒しながら新居を確かめるように歩き回っています。旧獣舎では歩くどころか、いつも寝てばかりでしたが(最も歩き回るほどのスペースもなかったのですが…)まるで別人、いや別グマのようです。そしてアサコは、ゆっくりとプールに近づき前足、顔、そしてとうとう全身プールにどっぷりつき、ジャブジャブと水浴びを始めました。旧獣舎では真夏でも水浴びをしなかったのに「きっとアサコは水が嫌いなんだ」と思っていました、私の完全な思い違いでした。アサコは今までのあかを洗い流しているかのように、プールから出たり入ったりを繰り返しています。おかげで、あっという間にプールの水は汚されしまいましたが、気持ちよさそうに水浴びをするアサコを見ると、こっちまで嬉しくなります。

そして、その日からアサコは広い放飼場での運動とプールでの水浴びなどにより、動きはシャープに、毛づやはピカピカになり10才は若返った感じです。しかし、そんなアサコに覚えてもらわなくてはならない大切なことが一つありました。

(つづく)



旧猛獣舎でのアサコ



もうじゅう館で水浴びをするアサコ



動物園事情

動物園の役割 その3

最近の住宅環境から動物とふれあう機会が少なくなって来ているとよく耳にする。しかし、少なくとも動物園にやってくる人たちは、動物に興味のある人だとおもうので、昆虫や犬猫くらいには1回くらい触った経験を持っているだろうと思っていた。当園では、平成9年にこども牧場をオープンし家畜やペットとのふれあい体験の場とした。ウサギのコーナーには順番を待つ長い列ができ、ビーグル犬と記念写真を撮る人が後を絶たない。

担当の職員がニワトリを抱きながらお話をしていたとき、近づいてきた中学生がトサカに触れて「あったけえ」と目をむいた。アオダイショウに恐る恐る触った子が「へえ、サラサラしてる。冷たくて気持ちがいいね」と感想を言っていた。

動物園に来るような人でさえ、動物に触ったことがないという人がいるのだ。これでは大学入試で4本脚のニワトリを描く人がいることに納得してしまう。動物園に来たことのない子どもは?と考えると心配になってしまう。そこで、当園では動物を連れて小学校に出張授業をすることにした。

担当の職員は、生物の教員免許をもっているのだから、学校の各単元に沿ったカリキュラムを用意し、授業をすることができる。

予想通りというか、驚くべきというか、この出張授業で初めて犬に触った子供たちがたくさんいた。子供たちの感想の中で「生命って柔らかいんだね」「生命って温かいんだね」という感想が多い。

動物園の役割は、生命を伝えることである。



出張授業風景



ウサギを抱く子供たち



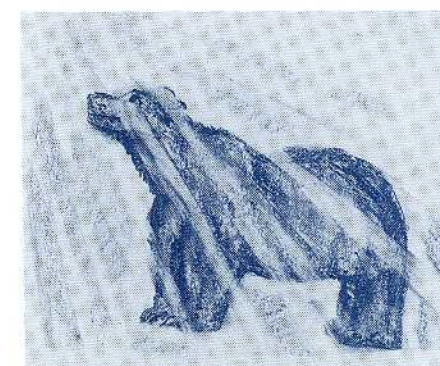
箱の中身は何だろな?



動物病院VETニュース

先日、雌のヒグマのアサコが死にました。30歳でした。野生には10才をこえるクマは珍しく、動物園ならではの長寿でした。アサコが動物園に来たのは、彼女が0歳だった30年前のことです。上川郡朝日町で捕獲され、国鉄旭川駅で飼育されていました。ご存じのように、昨年の秋に以前いた狭いオリから新しいもうじゅう館に引っ越ししました。このときには、こんなに元気だったのか、と思わせるくらい快活に、まるでしゃいであるようでした。何十年ぶりかの水浴びでは、プールの水が真っ黒になりました。

ある日、階段の上り下りで足を痛めてしまいました。鎮痛剤や消炎剤で治療を続けましたが、やがて歩けなくなってしまいました。麻酔をかけて検査をしてみました、骨には異常がありません。干し草を敷き詰めてすり傷を防いだり、出来るだけ足を動かさないように餌をそばまで運んであげたりしながら、投薬を続けるより他に出来ることはありませんでした。



クマのような体の大きな動物では、ちょっとした脚のケガが命取りになることさえあります。体が重いので3本足では立つことさえ困難になりますし、寝たきりになった場合、やはりその体重が内臓に負担をかけることになります。その上アサコは高齢でしたから、しばらく寝たきりが続けば回復は絶望的でした。アサコは徐々に衰弱してゆき、平成10年12月15日の朝冷たくなっていました。

解剖の結果は、股関節を繋ぎ止めている靭帯がほんの少し炎症を起こしているにすぎませんでした。そのためにやがて立てなくなり衰弱してしまったのです。30年も旭山動物園を見続けてきたクマが逝ってしまったことは、ベテラン飼育係にとってはことさらに悲しい出来事だったことと思います。

残された動物たちには、さらに健康に、さらに長生きしてもらって、出来ればかわいい子供も生んでもらって、もしも病気になるればさらに的確な治療をして・・・時折、動物の部屋にひっそりと飾られる祭壇を見るたびに、飼育係や獣医はそんなことを思います。

今回のクイズはお休みします。かわりに、いつもこのコーナーの賞品になっている旭山動物園特製「エゾシカの角キーホルダー」とはどんなものかを紹介します。



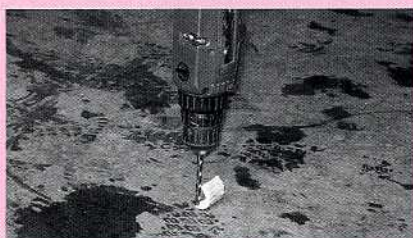
① 秋、エゾシカの角を切り落とす。



② よく洗って



③ 適当な大きさに切る。



④ ドリルで穴をあけて



⑤ オリジナルタグをつけて



⑥ 完成 カッコいいでしょ！

できごと

- 12月5日～3月6日（毎週土・日）
こども牧場・もうじゅう館観察会
- 1月8日 オランウータン原虫駆虫
- 1月17日 飼育勉強会「キツツキの採食行動の展示について」
- 1月24日 冬の動物園観察会
- 2月10日 オランウータンペアリングのためトランクライザー投与開始
- 2月14日 冬の動物園観察会
- 2月21日 オランウータン同居開始／飼育勉強会「サル山の餌付けと個体識別について」
- 2月24日 ライオン出産予定のため産室に閉じこめる
- 3月14日 冬の動物園観察会
- 3月18日 ライオン出産（オス3頭）
- 3月19日 飼育勉強会「クジャクの目玉模様の成長」
- 3月19、20日 ニホンザル仮設獣舎に移動／個体識別のためIDチップ埋め込み
- 3月21日 ライオンの子1頭死亡
介添えほ乳開始
- 3月22日 ライオンの子1頭死亡

飼育動物数

（2月28日現在）

哺乳類	54種	234点
鳥類	105種	570点
爬虫類	11種	57点
合計	170種	861点

編集後記

この雪の多さはいったい何なんだろう。3月の下旬だというのに園内の積雪は1メートルもある。雪のない「春の装い」でオープン（4月29日）するのが慣例になっているので、どうしましょう。雪が解けて、地面がでてから冬囲いの撤去、堆肥のかたづけ、動物の引っ越し、獣舎の補修など例年2週間以上かかっています。今年は全くめどが立ちません。オープンできるのかなあ？

モユク・カムイ No54 平成11年3月31日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
発行 小菅正夫
編集委員 坂東元・中田真一・松島守・辻松淳二
印刷 谷川印刷株式会社 〒070-0831 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653